

今年度はできるだけ多くの現場へ取材にお伺いします!  
★みなさまのお声を周知すべく奔走予定です★

まずは…こちらの学校の取り組みを今後紹介していきます!

- ・福井市川西中学校
  - ・大野市有終南小学校
  - ・勝山市立荒土小学校
  - ・あわら市金津中学校
  - ・坂井市立東十郷小学校
  - ・鯖江市河和田小学校
  - ・鯖江市東陽中学校
  - ・越前町立朝日小学校
  - ・越前町立織田中学校
  - ・越前市岡本小学校
  - ・敦賀市立敦賀西小学校
  - ・高浜町立高浜中学校
  - ・おおい町立名田庄中学校
- 今年度は県立学校も取材します!

新規の取材のご希望も  
ぜひお寄せください!  
校長会、教頭会、学年会など、  
学校単位以外も大歓迎です!



勤務間インターバルとは、1日の勤務終了後、翌日の始業時間までの間に一定以上の休息時間(インターバル時間)を確保する仕組みで、労働者の生活時間や睡眠時間を確保するものです。

民間企業ではこれを制度として導入することが平成31年4月から努力義務化されています。また、EU諸国では最低11時間以上確保することが義務化されているそうです。



13時間の勤務間インターバルの確保を例に考えてみましょう。往復の通勤に合計2時間、睡眠時間を7時間確保しようとする場合、食事・入浴なども含めたプライベートな時間は朝晩併せて4時間程度となることが分かります。

文部科学省の勤務実態調査の速報値では、小学校で37分、中学校で32分の持ち帰り時間(平日)が公表されています。教職員の場合は、一概に民間企業に勤める方と同様に考えることはできない部分もありますが、まずはご自身の勤務間インターバルの状況を確認してみませんか?

### 教員勤務実態調査の速報値発表

文部科学省が教師の勤務実態や働き方改革の進捗状況等を把握・分析することを目的として令和4年度に実施した「教員勤務実態調査」の速報値が発表されました。

上記の勤務間インターバルの確保のことを考えつつデータを見てみると、より数字が具体的に見えてくるかと思えます。まずは概要版だけでもご覧ください。

[教員勤務実態調査\(令和4年度\)【速報値】について:文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)

#### \*編集後記\*

少しずつ「GGKニュース」の名前をみなさまに知っていただけていますでしょうか。「学校業務改善」を気軽に「GGK」と呼んでいただけることで堅苦しいものでなくなるとうれしい限りです。

前号で紹介した『さる先生の「全部やろうはバカやろう」』をきっかけに、編集者は『エッセンシャル思考』を熟読中です。業務改善はまず私たち学校業務改善グループから。「より少なく、しかしより良く」、「最小の時間で成果を最大に」できるよう、日々勉強、日々工夫して参ります。

次号 VOL.3も  
お楽しみに!



### 例えば…こんな内容を取材でお伺いしています♪

昼休み・清掃の見直し	DX推進チームの結成	PTA活動の見直し	保護者懇談会の見直し
業務改善プロジェクト チームの結成	朝学習の見直し・活用	給食の指導体制の見直し	複数校での連携
スクールプランの工夫	保護者ボランティアの活用	日課表の見直し	地域人材の活用

今年度のテーマである「子どもたちと向き合う時間」と「教職員のゆとり」作りーにつながる数多くの取り組みを今後ご紹介できそうです!ぜひ今後のGGKニュースにご期待ください。

### 気になる取り組みはありますか?